

◎市長（山田憲昭君）

地域住民の声への対応についてお答えをいたします。

初めに、市に対する要望についてお示しをしたいと思います。

合併当初は、本庁・支所に分けて要望されていたことは承知をいたしております。私が5年前に市長に就任して以降は、要望内容にもよりますが、基本、私、あるいは本庁の担当部署で要望内容をお聞きした上で受け取ることといたしております。

ちなみに平成30年度は、私が直接要望をお受けしたのは、地域や各種団体を含め全部で62件でありました。また、それ以外の比較的軽度と判断される内容で、担当部署でお受けをいたしましたものは15件でありました。それらにつきましても、全て私がお後目を通しております。

御質問の支所・市民サービスセンターでお受けした平成30年度の要望は30件となっております。内訳は、美川支所で6件、そのうち2件は支所で、残り4件は本庁で要望に対する事後処理を行っております。また、要望があった鶴来支所の11件、河内市民サービスセンターの5件、吉野谷市民サービスセンターの1件、鳥越市民サービスセンターの5件、白峰市民サービスセンターの2件は、全て本庁で事後処理を行っております。なお、尾口市民サービスセンターでのお受けした要望はありませんでした。

これら支所・市民サービスセンターでお受けした要望につきましても、原則、私に回ってまいりますので内容を確認いたしております。

いただいたいずれの御要望につきましても、予算や緊急性、必要性を考慮し、本庁ないし支所・市民サービスセンターにおきまして、可能なことから順次対応をいたしております。

こうしたこと以外にも、直接市民の皆様から口頭でお聞きするものもありますし、まちづくり会議でお聞きをするものもあります。また、提案はがきでの要望もあります。いずれも内容を精査し、できる限り市政に取り入れさせていただいているところでもあります。

今後も地域の皆様の声を真摯にお聞きをし、市政に反映してまいりたいというふうに考えております。